



年頭の御挨拶

みなさま、明けましておめでとうございます！早いもので、アルメニアに着任してから半年以上がたちました。

昨年はアルメニアと日本の関係にとり実に特別で、実りの多い年となりました。1月には開館以来4年目を迎えるエレバンの日本大使館が、待望の新しい建物に移転しました。2月にはコーカサス地域で初となる日本との投資保護協定が署名に至り、既に日本の国会による承認もなされ、アルメニア国民議会の承認を待つばかりとなっております。9月には、四半世紀前のアルメニア独立と国交樹立後初めてとなる日本の外務大臣の初訪問も実現しました。

アルメニアにとっても2018年は、その長い歴史の中でも際だって特別な年であったと思います。特に、春に実現した平和的な政権交代は世界中の注目と賞賛を集め、複雑さと困難を増す一方の国際社会において一条の光をもたらすものでした。この年創設2800年を迎えたエレバン市がこうした刷新の中心舞台となったことも、正に「古くて新しい国」アルメニアの面目躍如といった感がありました。

さて、私たちの日本も2019年は大きな変わり目の年となります。4月末の天皇陛下ご退位により30年以上続いた平成の世が終わりを迎え、皇太子殿下のご即位と新元号制定により新たな時代へと一歩を踏み出します。折から2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが、2025年には大阪で万国博覧会が開催されることが決定しており、我が国としてはこれまでも増して人類全体の平和と発展に全力で貢献していくこととなります。

アルメニアと日本は色々な点で世界全体の中でも極めてユニークな「似たもの同士」であり、これから両国の都市間で姉妹都市が次々に誕生していったらいいと思いますが、実は色々な意味で私たちは既に「姉妹国家」「姉妹民族」と言ってよい存在ではないでしょうか。そうした両者が友情と協力を不断に深めていくことを通じ、二国間関係の次元にとどまらず一層広い文脈で妥当する普遍的な価値と方向性を体現していきたいものです。

本年が皆様にとり末永く記憶に残る素晴らしい年となることを心からお祈り申し上げますとともに、今後益々のご指導・ご助言をお願い致します。

2019年1月

駐アルメニア日本国特命全権大使

山田 淳